

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
東川口地区

平成25年6月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	定住人口の維持	人	1,203	1,164	1,146	確定 ●	△	あり	—	H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業実施により、新潟県中越大地震以降増えた社会的要因による、居住人口の減少は抑制できた。
指標2	イベント参加人数	人	6,605	9,600	9,725	確定 ●	○	あり	9,885	H25年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	石川県穴水町等の地域外の人々と交流が図れた。また、コミュニティパークの完成により、地区住民の居にコミュニティの活性化が図れる。
指標3	生活環境満足度	%	51	65	51	確定 ●	△	あり	60	H25年5月	△	事後評価時点では、未完成だった克雪施設等が完成したことにより、生活環境の満足度が向上したものの。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	克雪施設の整備やまちづくり協議会による活動等により、目標値には届かなかったが、地域住民の生活環境の満足度は、大きく向上した。
指標4						確定 ●		あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 ●		あり		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	花いっぱい運動実施箇所	箇所	2	/	5	確定 ●	/	/	—	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域住民の景観向上活動が活発になり、植栽箇所が増加し、新たなコミュニティの場となった。
その他の数値指標2						確定 ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 ●	/	/		H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	地域コミュニティイベントの充実	よつげ亭ふれあい市の開催	東川口コミュニティパークの完成により、イベント参加者の休憩場所としての使用ができたことから、新たな地域コミュニケーションの場ができた。	毎月第3日曜日に開催の「よつげ亭ふれあい市」が、地域コミュニティの場として定着していることから、今後は越後川口駅前通りにイベントの範囲を広げ、地域コミュニティの更なる活性化を図りたい。
	花いっぱい運動の強化	長岡市花苗配布事業を活用した花いっぱい運動	地区内5箇所で開催して行なわれており、植栽作業による連帯感や、コミュニケーションの場として定着し、地域コミュニティの再生に寄与している。	花いっぱい運動が地域全域に広がり、地域コミュニティの確実な再生を目指す。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	克雪用水の有効利用	流雪溝検討委員会の組織化。	地区住民による、流雪溝検討会が発足し、克雪用水の有効利用等の検討を行う組織ができた。	既存施設の改修や利用時間及びルートの見直しにより、限りある克雪用水の有効に利用したい。
	魅力ある商店街の形成	-	-	地域コミュニティを更に活性化するために「よつげ亭ふれあい市」のイベントを行っている商店街を魅力あふれるものにし、イベント開催時以外でも、賑わいの創出ができるような商店街の形成を目指す。
	雪を活用した地域等の振興	-	-	減少傾向にある定住人口の維持及び増加を図るため、雪を活かした地域振興及び商業振興を行ない、冬期間の生活を豊かなものとする必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-			

都市再生整備計画(清算報告)

東川口地区

新潟県長岡市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	ながおかし 長岡市	地区名	ひがしかわぐちちく 東川口地区	面積	50 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 24 年度	交付期間	平成 22 年度 - 平成 24 年度				

目標
<p>中越大震災からの復興を確かなものとするため、良好な居住環境の形成によりうるおいのある暮らしが出来るまちづくりを行う。</p> <p>①冬期間の生活環境の利便性、快適性を高める。 ②中越大震災により希薄になった地域コミュニティ、地域活動を活性化する。 ③地区外へ情報を発信し、人と人との交流を図る。</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 東川口地区は、行政機関・商店街・医療機関が集中しその周辺に住宅地が形成された複合地帯であり、川口地域の中心的役割を担っている。 J R 越後川口駅を中心とした川口地域の玄関口として先導的役割を担わなければならない本地区は、第5次川口町総合計画で「市街地ゾーン」に設定され、「道路交通ネットワークの整備」「生活環境整備」「生活安全の確保」等の強化充実を図り川口地域の拠点地としての発展が期待されている。 「市街地ゾーン」として設定された本地区は都市計画マスタープランにおいて不足している幹線道路・公園等の施設整備を行う方針で景観形成についても「歴史的景観の保全と整備」に努めることとして、鋭意整備を進めてきた。 一方、同計画において本地区は「雪に強い町づくり」・「水害に強い町づくり」による複合市街地としての環境整備も進めるものとしており、まちづくり交付金事業をはじめとした各種事業・施策の実施により幹線道路整備・袋小路の解消・河川公園の整備・生活基盤整備を推進してきた。 全国有数の豪雪地帯である本地区は克雪施設の充実度が居住環境に大きく影響するが、整備の遅れが深刻となっており、早期の施設整備が望まれている。 一級河川信濃川水系の清流魚野川に隣接した本地区は水辺プラザ「親水ふれあいゾーン」として河川敷の整備が実施され、住宅密集地である旧三国街道（本町通り）には、商業交流施設「よつてげ亭」や空地を利用した公園「にこパーク」が整備されるなど、コミュニケーションの場が形成されてきつつあるが、この流れをさらに進めるため、まちなかの拠点として情報発信機能を備えたコミュニケーションの場を整備し、情報交換に必要な人から人への「くちコミネットワーク」を発揮させる場が必要となっている。 まちづくりにおいては、新潟県中越大震災からの復興を目指し、地区住民による活動が活発になっており、新たな地域コミュニティ「よつてげえふれあい市」が毎月第3日曜日に開催されるなど地域住民によるまちづくり活動を実践している。 平成16年度から平成20年度に実施したまちづくり交付金事業の事後評価の結果を本計画の策定に活かすとともに、「東川口町会」と克雪施設の現地踏査による現況把握及び今後の管理運営方法等についても協議を行い、地域活動については、まちづくり活動を実践する町会の下部組織「キラリまちづくり部会」において協議を重ね、活動の発展・継続を目指している。

課題
<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の交通の安全確保及び雪処理に費やす時間と労力の軽減を図り、快適な居住環境を創出・拡大するために、流雪溝の整備を進めているが、用水施設が不足しているため、用水供給の確保が必要である。 平成16年10月23日発生の中越大震災以降、地区外及び地域外への転出により、人口の減少及び定住者の高齢化が加速し、地域のコミュニティが希薄になっており、地域活動を活性化し、人と人の絆を取戻すことが必要である。 中越大震災からの復興を確かなものとするために、地区外の人との交流も重要であるが、地区外への情報発信の拠点が無い。また、地区の顔となっているJR越後川口駅前通りは、震災以降空地が増えているため、その空地を利用した「まちな顔」とも言える情報発信の拠点・交流の場として再生する必要がある。

将来ビジョン(中長期)
<p>川口地域の中心的地区である東川口の住民一人一人が力を合わせ、ここに住んでいることの喜びと自信、誇りを持ちながらいきいきと暮らせるまちを築くため、既存の地域資源を活かしたうえで生活基盤を整備し、まちの将来像である「心に残る出会いと交流、誇りとうるおいある暮らしのまち」のテーマを象徴するような先導的なまちづくりの実現を目指す。</p>

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
定住人口の維持	人	地区内の居住者数	住環境を整備することにより、社会的要因による人口減少を抑制し、活気ある住みよいまちづくりを目指す。	1,203	H21	1,164	H24
イベント参加人数	人	震災からの復興と地域活性化を図るためのイベントの年間参加人数	震災からの復興を確かなものとするため、地域間交流の強化及び地域振興を図る指標として、イベント参加人数の増加を目標とする。	6,605	H20	9,600	H24
生活環境満足度	%	生活環境満足度アンケート結果の「満足」「やや満足」の比率	生活環境に満足することによる、居住者の定着、地域コミュニティ活動の活性化。	51	H21	65	H24

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(生活環境の利便性、快適性の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 克雪施設未整備区域に流雪溝、消雪パイプを整備し、雪に強い市街地を形成し、生活環境の向上を図る。 ・ 流雪溝の機能向上を図ることにより、交通の快適性、雨水排除のための兼用側溝として生活の安全を確保する。 ・ 緊急地方道整備事業により駅前通りに歩道が整備されるため、流雪溝を整備し歩行者の利便性の向上を図る。 	<p>道路(基幹事業)、地域生活基盤施設(基幹事業)、まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業)、緊急地方道整備事業(関連事業)</p>
<p>整備方針2(地域コミュニティ、地域活動の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前通りと旧国道交差点にまちなかの拠点となるコミュニティパークを整備し、商業交流施設の「よってげ亭」とも連携し地区内外の人と人の交流を図り、地域の元気を発信する。 ・ 地域の主要導線である駅前通りと旧三国街道を重点整備区域として、震災により増えた、地区内の空き地を利用し、まちなかの活性化を図る。 	<p>公園(基幹事業)、まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業(提案事業)、まちづくり協議会運営支援(提案事業)、商店街と大学の連携による協働体制構築事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>○駅前通りの活性化促進 地域住民を中心とした駅前通り及び旧三国街道の美化運動、人と人の交流の拠点として、川口地域全体の活性化を図る。 また、ふれあい市や花苗の配布イベントを通じ、地域住民・来訪者のコミュニティ形成を進める。</p> <p>○交付期間中の計画の管理 整備済み施設の利用状況、住民からヒアリング等により整備施設の効果を確認するとともに、改善の有無を評価し、住民の利便性を高める。また、その効果等を市町の広報誌等で公開する。</p>	

